

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和5年3月31日

計画の名称	ユニバーサルデザインと防災性を兼ね備えた住む人、訪れる人に「安全・安心なまちづくり」			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	中津川市	
計画の目標				

中津川市は豊かな自然と歴史・文化が光るまちで馬籠を始めとする観光地には多くの来訪者が訪れるとともに、中津川公園をはじめとする多くの公園が存在するが、公園や来訪者のためのトイレ等のバリアフリー化が十分に行われていない。
また、中津川市は県内で唯一、東海地震の想定震源域及び地震防災対策強化地域に指定されているが、指定避難所となる公共施設の耐震化も完全には行われていない。
このような中、本事業により誰もが安心して訪れることができると同時に、住む人が安全・安心に暮らすことのできるまちづくりのための基盤整備を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- 指定避難所の耐震化率を80%（H22）から86%（H26）に増加
- 公園のバリアフリー化率を4%（H22）から20%（H26）に増加
- 災害応急対策施設整備済み避難所を6箇所（H26）増加

定量的指標の定義及び算定式

指定避難所の耐震化率 (耐震化された指定避難所施設数) / (指定避難所施設数 96施設) ※指定避難所87箇所96施設	80%	83%	86%
公園のバリアフリー化率 (バリアフリー化された公園数) / (公園数 27箇所) ※都市公園10箇所、河川公園8箇所、その他公園9箇所	4%	10%	20%
災害応急対策施設の整備済み避難所増加数 (災害応急対策施設整備済み避難所増加数) = (H26年度末までに新たに災害対策応急施設を整備した避難所数)	0箇所	2箇所	6箇所

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
------------------	-----------------	-----------------

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	447百万円 383百万円	A	364百万円 297百万円	B	0	C	83百万円 86百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	18.6% 22.4%
-------	---------------	------------------	---	------------------	---	---	---	----------------	---------------------------	----------------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・中津川市建設部内にて評価を実施。	令和5年3月31日
	公表の方法
	・中津川市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都市再生	一般	中津川市	直接	中津川市	馬籠落合地区都市再生整備計画	面積=500ha、落合保育園耐震改修、中山道特殊舗装等	中津川市						81 82	
1-A-2	都市再生	一般	中津川市	直接	中津川市	蛭川地区都市再生整備計画	面積=145ha、蛭川保育園耐震改修、蛭子座広場整備等	中津川市						123 122	
1-A-3	公園	一般	中津川市	直接	中津川市	公園施設長寿命化計画策定調査（中津川市）	N=10箇所の都市公園の公園長寿命化計画策定	中津川市						10 10	
1-A-4	公園	一般	中津川市	直接	中津川市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業□中津川市	N=10箇所の都市公園の長寿命化、バリアフリー化等の整備	中津川市						150 83	
合計													364 297		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	調査・計画	一般	中津川市	直接	中津川市	河川公園等長寿命化計画策定事業	都市公園を除く河川公園8公園、その他公園9箇所の公園長寿命化計画策定	中津川市							8 8	
1-C-2	施設整備	一般	中津川市	直接	中津川市	河川公園等安全・安心対策整備事業	都市公園を除く河川公園8公園、その他公園9箇所の長寿命化、バリアフリー化等の整備	中津川市							40 10	
1-C-4	施設整備	一般	中津川市	直接	中津川市	防災施設整備事業	その他公園等避難所における簡易型トイレ、防災ベンチ等の災害応急対策施設の整備	中津川市							20 55	
1-C-5	施設整備	一般	中津川市	直接	中津川市	防犯灯再整備事業	その他公園等避難所及び避難所周辺の防犯灯の機能強化等（照度確保）	中津川市							15 13	
合計													83 86			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	都市公園だけでなく市内の公園施設全体として長寿命化計画を策定することにより、利用者の安全・安心の確保を図ることができる。															
1-C-2	都市公園だけでなく市内の公園施設全体として安全・安心対策整備を行うことにより、利用者の安全・安心の確保を図ることができる。															
1-C-4	地域の防災性向上のため1-A-4事業により整備する都市公園とあわせて避難所指定されているその他公園、学校施設等に防災施設を設置し市全体の防災力をあげ、住む人の安全・安心な暮らしの確保を図ることができる。															
1-C-5	公園や避難所指定されている施設及びその周辺の照度を確保することで1-A-4及び1-C-4の事業などで整備された施設の利用促進を図るとともに利用者の安全、安心を確保することができる。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する		<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所の耐震化を行った結果、避難者の安心度が上がった。市内で広域的に避難者の受け入れが可能となった。 公園施設のバリアフリー工事を行ったことにより、公園利用者（ウォーキング等）が増加した。 災害応急対策施設（マンホールトイレ）の整備により、防災意識が向上した。（防災訓練にて、マンホールトイレ設置訓練を実施） 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（耐震化された指定避難所施設数）	最終目標値	86.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・予定通り実施。
		最終実績値	90.6%		
	指標②（バリアフリー化された公園数）	最終目標値	20.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・予定通り実施。
		最終実績値	22.2%		
	指標③（災害応急対策施設整備済み避難所増加数）	最終目標値	6箇所	目標値と実績値に差が出た要因	・効果促進事業により当初計画よりも整備を進めることができたため。
		最終実績値	9箇所		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 公園長寿命化計画策定により、計画的な公園施設の更新が可能となった。 特殊舗装の整備により、落合宿と馬籠宿をつなぐ中山道沿道を歴史的な街並みとして一体的に景観形成することができた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 中津川市は起伏の多い地形のため、公園においても平面的な公園が少なくバリアフリー化が難しい地形となるが、公園内での動線を見直しバリアフリー化整備率を上げていく。 「中津川市地域防災計画」に基づき、担当課と調整を行いながら、災害対策施設の整備率を上げていく。 観光資源である中山道及び3宿場町（中津川宿、落合宿、馬籠宿）の魅力さをさらに高めるため、未整備地区において特殊舗装の整備率を上げていく。 					